

# えんとつ

## ～資源循環型社会を目指して～ 3市共同資源化事業基本構想をまとめています

### 1 基本構想とは

3市共同資源化事業については、広報えんとつ（全域版）でお知らせいたしました。平成33年のごみ焼却施設の更新を視野に入れ、小平市、東大和市及び武蔵村山市の3市地域の循環型社会の形成を目指し、資源を含む廃棄物処理の将来の方向性を決めるもので、平成15年度から3市及び小平・村山・大和衛生組合の4団体で進めている事業です。

現在、4団体では、3市共同資源化事業に関する基本構想をまとめていますが、基本構想は、できる限りごみや資源など廃棄物の発生や排出を抑制し、廃棄物となるものについては環境への負荷の低減に配慮し、リサイクルを行った上で、なお、リサイクルできないものについて適正に処理を行ない、発生する熱についても有効に活用することを基本に、3市地域における望ましい循環型社会に向けた取組の全体像を明らかにするものです。

基本構想では、3市共同資源物処理施設の建設に係る具体的な計画（基本計画）の内容を含んで取りまとめ、これらの内容を明らかにしていくとともに、3市市民への事業説明の資料を併せて作成するものです。

### 2 基本構想の具体的な内容

基本構想の具体的な内容として、ソフト面では、廃棄物の発生や排出の抑制に向けた廃棄物減量施策や3市地域における資源化基準の統一など、ハード面では、循環型社会形成推進交付金を活用した3市共同資源物処理施設、不燃・粗大ごみ処理施設（マテリアルリサイクル推進施設）及び焼却施設（エネルギー回収推進施設）の整備に向けた基本的事項を定めるものです。また、整備を検討している施設のうち、容器包装プラスチック及びペットボトルの処理を行なう3市共同資源物処理施設については、他の施設に優先して最短のスケジュールにより整備を図る必要があります。詳細は、(1)、(2)のとおりです。

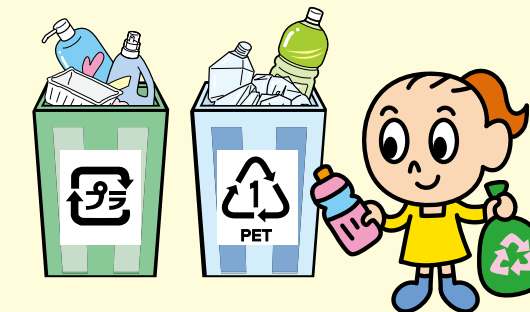
#### (1) 循環型社会推進の取組内容

- 1 地域の循環型社会を推進するための基本的な事項（対象となる地域、計画期間及び基本的な方向）
- 2 循環型社会形成推進のための現状と目標（排出量、再生利用量、減量化量、熱回収量、最終処分量などの現状と目標）
- 3 施策の内容（設定した目標達成に向けた発生抑制、再使用の推進に関する施策、処理体制の変更に関する事項、処理施設の整備、施設整備に関する計画支援事業、その他の施策）

#### (2) 3市共同資源物処理施設の内容

- 1 計画の基本事項（計画の目的、基本的方針、計画概要等）
- 2 施設概要（施設規模、主要設備、用地、環境保全基準等）
- 3 プラザ機能（環境学習・啓発機能、市民利用機能等）
- 4 環境保全計画（公害防止基準、公害防止設備の概要等）
- 5 災害対策計画（施設災害（地震・火事）、労働災害等）
- 6 配置・動線計画（平面図・立面図、搬出入車両シミュレーション等）
- 7 建設・運営計画（事業方式の検討、周辺環境対策、財源計画等）
- 8 事業スケジュール（環境影響調査、都市計画決定、施設建設工事等）

<資料> 施設の鳥瞰図、周辺地域の状況、類似施設の状況等



### 3 基本構想の活用

基本構想については、

#### (1) 地域計画の基礎資料

交付金申請に必要な「循環型社会形成推進地域計画（地域計画）」の基礎資料として、「循環型社会形成推進地域計画作成マニュアル（平成17年6月）」（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部）に沿い、同計画の策定に必要な内容を含みます。なお、地域計画は計画対象地域内における一般廃棄物処理に関する総合的な施策を記述するものです。

#### (2) 都市計画決定手続き及び環境影響調査の基礎資料

基本構想の中で策定される3市共同資源物処理施設基本計画の資源物処理施設は、その他容器包装プラスチック及びペットボトルの選別・圧縮・梱包・保管施設であり、この施設の建設に伴う都市計画決定手続き及び環境影響調査の基礎資料として必要な内容となります。

### 4 基本構想に係る今後の予定

基本構想については、今後、本年3月までに案を作成し、3市市民への説明会を実施するとともに、パブリックコメント等を行い、いただいた意見や提案を反映させ、策定を行ってまいります。なお、今後のスケジュールについては、次のとおりです。

#### 基本構想のスケジュール

時期（年月）	内容
平成26年3月	基本構想（案）の策定
平成26年4月～8月	地域住民、3市市民への説明、パブリックコメントの実施、市民意見の反映等
平成26年9月	基本構想の策定

#### 【事務局】

- ①こもれびの足湯における灯りまつりであるが、本年度は、小平市人権擁護委員から共同開催との提案を受けており、共催での参加について踏りたい。
- ・人権擁護委員とは。⇒法務省から委嘱されており、人権に関する相談を受けている。
- ・なぜ中島町で共催なのか。⇒中島町に人権擁護委員がおり、その方から提案いただいた。
- <結果>了承され、今年は共催で参加となった。
- ②連絡協議会主催の事業であるので、実行委員（代表者）を選出願したいが、委員会は3月3日、4月14日、5月12日、6月16日、7月7日、22日、28日、8月1日、4日の9回、時間は10時から12時で、実施日は8月2日（土）の予定であるかどうか。
- <結果>選出が難しいため、事務局で対応となった。
- ③足湯に常設していた実行委員会テントが雪により損壊したため、在庫のテントを活用したい。
- ・責任者をつけた方がよい。
- <結果>了承された。
- ④足湯施設運営連絡会年度内に開催の予定であるが、足湯施設に係る意見要望があれば会議に諮る。
- <結果>要望なし。
- <その他・質疑等>

#### 3 開 会

- ・予算が16億とあるが、今後も増えるのではないかと。
- ⇒消費税の関係もあるが、バグフィルター等の取替えの大規模な工事もあり、今後、老朽化による補修等については、計画的に、変動がないよう考えているが、増える可能性はある。
- ・前に話があったと思うが、全面的に建替える話や計画はないのか。
- ⇒3市共同資源化事業の中で、焼却を含めて、将来の方向性を示すよう進めている。
- 焼却施設については、過去に方針を変更して、平成33年まで使用できるよう部分更新しており、平成33年が建替え時期になるが、粗大ごみ処理施設や3市共同資源物処理施設も合わせて、計画的に整備していくことで検討を進めている。
- ・計画はあるが、予定よりも補修費が膨らむと、抜本的に考え直さなければならないという状況もありうると思う。平成33年の建替えもあるが、考え方や方向性を考える余地はあくまで補修であり、いつ悪くなるかわからない。
- ・もし、組合で火災がおきた場合、どのように中島町の地域に知らせるのが話し合われたことはないかと。中島町の地域の住民と全体的な防災訓練ができるような体制にしていきたい。
- ⇒組合では、地域の皆様に事前に通知して、消防署と訓練を行っている。今回の意見については、貴重な意見として受け止めたい。

## 第11回 えんとつフェスティバル 2013



つなげよう資源の輪 広げよう地域の和をテーマにしたイベント「えんとつフェスティバル2013」が昨年の10月12日（土）に開催されました。当日は天候にも恵まれ、約3000人の方が来場され、模擬店やフリーマーケットは多くの方で賑わい、清掃工場見学「えんとつミニツアー」や、地場野菜の販売、

ごみ収集車展示、大声コンテスト、よさこい、バンド演奏等が催されました。実行委員の方々には開催前から準備いただき、また、地域の皆様には、当日早朝からお手伝いいただいたことを御礼申し上げます。大変ありがとうございました。

## 足湯情報

### ◎改修工事を行いました

足湯では、本年2月～3月の休業中に、雨や雪等による土間のぬかるみを防止するための土間の舗装工事、浴槽の底面が劣化し、一部浮いている足湯C（足湯AとBの間をつなぐ部分）の浴槽の石を張り替える補修工事を行いました。この工事は、地域の代表者から足湯の管理運営についてご意見をいただく場である「足湯施設運営連絡会」からの要望によるものです。休業中は、皆様にご迷惑をおかけしましたが、今後も皆様に安心してご利用いただける施設になるよう努力してまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



石張補修工事

### 足湯施設運営連絡会

足湯施設運営連絡会では、連絡協議会の代表者、足湯アダプトの推薦者、近隣住民の5名で構成されており、施設の管理運営に関すること、地域特性を生かした提案等を検討しております。

- |  |   |
|--|---|
| <p>●平成25年度<br/>第1回足湯施設運営連絡会</p> <p>○開催日 平成25年7月4日（木）</p> <p>○議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新委員への委嘱状の伝達</li> <li>2 正副会長の選任について</li> <li>3 足湯施設の運営について<br/>(1) 足湯施設運営状況について（報告）</li> <li>4 その他<br/>(会議内容)<br/>任期満了に伴う委員の改選に伴い、新たに委嘱状の伝達や正・副会長の選任を行った。その後、足湯施設の設置等の経緯、運営状況や、今年度の工事の予定等を説明し、質疑応答を行った。委員からは、足湯を休業せずに工事していただきたい、南側土間部への木材チップの敷き詰めは実行してもらいたい、などの意見・要望をいただいた。</li> </ol> | <p>●平成25年度<br/>第2回足湯施設運営連絡会</p> <p>○開催日 平成26年3月6日（木）</p> <p>○議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 足湯施設の運営について<br/>(1) 足湯施設運営状況について（報告）<br/>(2) 意見・提案について（報告）</li> <li>2 その他<br/>(会議内容)<br/>足湯施設の運営状況、物品販売の許可状況、苦情対応、足湯アダプトの活動状況、取材の報告、灯りまつりへの参加協力等について説明し、質疑応答を行った。委員からは、足湯Cの橋を直してもらいたいとの意見、要望をいただいた。</li> </ol> |
|--|---|



## 平成25年度第3回（第89回）連絡協議会（第3回えんとつフェスティバル実行委員会合同）

**日 時** 平成25年9月24日（火）午後7時から午後8時まで
**場 所** 小平・村山・大和衛生組合 4・5号炉 3階 大会議室
**【第3回連絡協議会】**
**1 あいさつ 連絡協議会 加園会長**
**2 議題**
**（1）組織市、衛生組合からの連絡、報告**
**①小平市**
・9月7日(土)に、福祉会館前市民広場において、午前10時から午後2時まで、小平環境フェスティバルを実施した。来年の開催場所については、スポーツ祭東京2013の実施のため、今年度使用できなかった中央公園において、下水道課の下水道の日記念イベントと合同で開催を予定している。
当日は、雨もなく、約3500名の方に来場いただき、フリーマーケットに32店、ステージに8団体参加いただき、課の事業として、有料粗大ごみの無料抽選配布、おもちゃの病院、子ども木工教室、陶磁器のリサイクルを行い、今回初めて、使用済み小型家電の回収を実施した。回収量であるが、陶磁器のリサイクルは420キ口、使用済み小型家電は11キ口の回収が行われた。
なお、陶磁器のリサイクル及び使用済み小型家電については、11月に、日時等について市報等で事前にお知らせし、リサイクルセンターでの拠点回収を行う予定であるが、本年度は、あと2回実施を予定しているので、皆様には、お待ちいただけますと思うので、よろしくお願ひしたい。

**②東大和市**
・11月2日(土)、3日(祝日)に市役所周辺において、第44回東やまと産業まつりが開催されるが、当日は、粗大ごみの再生品の無料配布のほか、不用食器の回収を行う予定であるので、お立ち寄りいただきたい。
**③武蔵村山市**
・使用済み小型家電のリサイクルについてであるが、国の小型家電リサイクルシステム実証事業の対象地域の決定を受け、来年1月から、市内公共施設8箇所に拠点回収ボックスを設置し、デジタルカメラ等の18品目を対象に実施する予定である。
**④衛生組合（総務課）**
・組合では、全国交通安全週間に合わせ、松の木通りで収集車両の安全監視活動を行った。職員が道路端に立ち、安全監視を行ったものである。
**（業務課）**
・「平成25年度 焼却施設維持管理状況一覧表」について説明。
**（計画課）**
・こまねびの足湯であるが、電気設備点検のため、9月28日(土)休業する予定である。
・広報えんとつ（全域版）を9月25日に新聞折込みを行い、地域版も30日までに各戸配布を行う予定である。地域版には、連絡協議会の平成25年度第1回、第2回の会議録、えんとつフェスティバルの内容が掲載され、模擬店の特典もあるので、当日に持参いただきたい。

**<質疑等>**
特になし。
**（2）意見・要望について**
特になし。
**3 閉会**
一 司会交代 一

## 平成25年度第4回（第90回）連絡協議会（第4回えんとつフェスティバル実行委員会合同）

**日 時** 平成25年12月19日（木）午後7時から午後8時15分まで
**場 所** 小平・村山・大和衛生組合 4・5号炉 3階 大会議室
**【第4回連絡協議会】**
**1 会長あいさつ（加園会長）**
**2 議題**
**（1）組織市、衛生組合からの連絡、報告**
**①小平市**
・10月20日（日）に、第38回小平市民まつりが開催された。当日は雨天で、3万人の皆様に来場いただいた。ごみ減量対策課では、会場内にブースを設置し、アンケートの実施予定であったが、天候の関係により、ごみ減量等の啓発品の配布、食物資源循環モデル事業の啓発として食物由来の堆肥配布を行った。
・年末年始の収集は、年末が12月31日（火）まで、年始が1月6日（月）からとなり、年始の収集までの間、各家庭でごみの保管に協力をお願いしたい。
詳細は、11月20日号及び12月5日号の市報で確認いただきたい。また、年末年始のごみ・資源収集カレンダーを自治会長あてに送付しているが、不足の場合は、ごみ減量対策課や東部・西部出張所の窓口で配布しているので、よろしくお願ひしたい。
・例年不要はがきの回収を行っているが、本年も1月20日（月）～2月21日（金）まで市内郵便局に回収ボックスを設置して行う予定である。詳細は1月20日号の市報に掲載するので、ご覧いただきたい。なお、市役所及び東西出張所には年間を通して回収ボックスを設置しており、利用いただきたい。
・陶磁器と使用済み小型家電のリサイクルであるが、小平市ごみ減量推進実行委員会の共催による第2回目及び第2回目の回収を小平市リサイクルセンターにおいて、11月7日（木）午後1時30分から2時間実施した。陶磁器は1,480キ口を回収し、今回初めて実施した使用済み小型家電は47キ口を回収した。なお、使用済み小型家電の回収品目は、携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機器、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、ポータブルカーナビ、電子手帳、卓上計算機、ACアダプターに限定しているが、利用頂きたい。第3回目の拠点回収は、小平市清掃事務所において1月21日（火）午後2時～4時に行う予定であるが、詳細は12月20日号の市報を確認いただきたい。
今後は、東部地域において、3月14日（金）に実施予定であるが、市報等で広報する予定であるので、確認いただきたい。
・小平市一般廃棄物処理基本計画（案案）に対するパブリックコメントを11月19日

**【第3回えんとつフェスティバル実行委員会】**
**1 竹内実行委員長あいさつ**
**2 議題**
**（1）フリーマーケットの抽選結果について（報告）**
抽選会は9月18日（水）に、竹内実行委員長及び事務局で行った。応募数は、小平市34グループ、東大和18グループ、武蔵村山市15グループ、立川市14グループ、地域枠8グループの合計89グループで、地域枠については全員当選し、他の地域は応募数を比例配分した当選枠を設定し、34区画分を抽選した。抽選結果は、応募された方すべてに通知を発送予定である。

**（2）各部会の企画について**
**①総務部会**
・舞台の製作状況、スケジュール、会場設営等の予定を説明した。
・ポスターの掲示を各公共機関及び各自治会へ掲示を依頼した。
・美大生の似顔絵は人数の確保を行っている。
**②イベント部会**
・ステージ予定（チキンスープ、クリーンハッチャーズ、よさこい等）を説明した。
・イベント企画予定（清掃工場ミニツアー、クイズラリー、組合ブース、10t車の運転見学見学、大声コンテスト、ぬり絵）について説明した。
**③模擬店部会**
・模擬店（焼きそば、やきとり等）について説明した。
**（3）地域役員・実行委員の配置について**
・別紙資料「えんとつフェスティバル実行委員タイムテーブル」に基づき、全体の流れを説明。
・別紙資料「えんとつフェスティバル2013地域役員分担（案）」について説明。
・13日（日）も雨で中止となった場合は、返却ができない食材を格安で販売する「えんとつ市」を開催する。10時に組合3階の会議室に集えいただきたい。

**<主な意見等>**
・トランボリンは行うのが。
⇒今年も廃材を利用して設置予定である。
・地域役員の集合時間を確認したい。
⇒8時30分をお願いしたい。
・土曜日雨天で順延の場合は日曜の役員が減るが。
⇒問題はないので、よろしくお願ひしたい。
・ステージ出演者には費用はかかるのか。
⇒謝礼を出している。
・地域役員として毎年同じ内容で手伝っており、その辺りを考えてもらいたい。
⇒事務局案は今までの経験等を考慮しているが、この場で変更できればと思う。（中島町十三番地が飲み物・食器洗い、中島町APが焼き鳥となった。）
・フランクフルトの地域役員の人数が少ないが、問題ないか。
⇒対応を検討したい（幸町団地の地域役員2名増となった）。

**（4）その他**
・三市ごみ連絡会が、えんとつフェスティバル当日に、ダンボールコンポスの展示、不用食器回収とリユース食器の無料配布、廃食用油の回収を行うとのことなので、協力をよろしくお願ひしたい。
・実行委員で都合がつく方は、前日の11日（金）午後3時に集合していただき、準備の協力をお願いしたい。

**3 その他**
・10月9日(水)に場内の銀杏落としを予定している。都合がつく方、希望する方は、抱いてきていただきたい。

（火）～12月18日（水）まで実施した。また期間内の12月2日～11日に6回の地域懇談会を開催したところ、25名の参加を頂いた。
寄せられた意見等については計画への反映の可否について検討し、来年3月までに、結果を公表する予定である。基本計画は、今後、廃棄物減量等推進審議会での審議を頂き、平成26年3月に策定予定である。
**②東大和市**
・平成26年10月からごみの有料化を実施する。対象品目は、燃えるごみ、燃えないごみ、容器包装プラスチックとし、手数料等については、指定収集袋を4種類に区分して、1枚当たり、5 ℓが10円、10 ℓが20円、20 ℓが40円、40 ℓが80円で、10枚単位での販売を予定している。有料化の対象品目の収集方法については、戸別収集へ変更となるが、資源物については、ステーション回収となるので、よろしくお願ひしたい。
**③武蔵村山市（計画課長より説明）**
・平成26年1月から、使用済み小型電子機器等について、公共施設8か所（市役所、緑が丘出張所、市民総合センター、情報館えのき、中藤地区会館、大南地区会館、三ツ木地区会館、残堀・伊奈平地区会館）に回収ボックスを設置し、回収を始める予定である。回収品目は、①携帯電話、②ポータブルカーナビ、③携帯ラジオ、④デジタルカメラ、⑤ポータブルビデオカメラ、⑥携帯音楽プレーヤー、⑦ICレコーダー、⑧補聴器、⑨ヘッドホン、⑩電子辞書、⑪電卓、⑫電子血圧計、⑬フィルムカメラ、⑭理容用機器（ヘアードライヤー、ヘアアイロン、電気かみそり、電気バリカン、電動歯ブラシ）、⑮懐中電灯、⑯時計、⑰携帯ゲーム機、⑱ACアダプターの18品目である。ただし、回収ボックスの投入口（25cm×15cm）を通過できる大きさであって、個人情報や消去したものに限り、電池は必ず取り外すことをお願ひしたい。また、回収ボックスに投入された使用済み小型電子機器等は、原則として返却できないので、排出する際は十分注意をお願いしたい。

**④衛生組合（総務課）**
・組合議会が11月19日（火）に開催され、24年度の決算等について審議され、認定いただいたが、関連する内容では、えんとつフェスティバル補助金、連絡協議会、足湯施設事業費の管理運営委託料等があった。
**（業務課）**
・「平成25年度 焼却施設維持管理状況一覧表」について説明。
・年末年始の操業であるが、年末の受入は12月31日まで、年始の受入は1月6日か

ら、粗大ごみ処理施設は、年末は12月30日まで、年始は1月6日から稼働するので、協力をよろしくお願ひしたい。
**（計画課）**
・3市共同資源化事業であるが、3市と衛生組合は平成25年11月29日付で「3市協同資源化事業に関する確認書」で今後の事業の進め方について確認したが、その内容は、①3市共同資源物処理施設が3市の将来にわたる廃棄物処理を安定的に実施することや、不燃・粗大ごみ処理施設の更新、焼却施設の更新という喫緊の課題に取り進むために3市のごみ処理の枠組みの中で重要な位置づけにあり、市民生活に必要な不可欠な施設として3市が共同して公設で整備を進めること、②焼却施設の更新を視野にいれて粗大ごみ処理施設の更新と資源物処理施設の整備をあわせて3市共同資源化事業基本構想の中でまとめること、③資源化基準の統一や、3R（発生抑制、再利用、再生利用）の推進について引き続き議論を進め、循環型社会の形成を目指すこと、④3市市民に事業への理解を深めていただくために、基本構想を策定し、施設の内容を明らかにするとともに、3市全域にわたっての説明を継続して行うこと。また、住民が参加できる枠組みを早急に確立し、その信頼を得て事業を進めることを内容としている。

・住民が参加できる枠組みとして、3市のごみ処理の状況等の説明、建設する施設の姿や環境対策等についての協議の場として、3市共同資源物処理施設施設の周辺住民を対象とした「(仮称)施設整備地域連絡協議会」を設置し、この協議会の構成等について調整を図るための準備会を、12月18日午後7時から、東大和市桜が丘市民センターで開催し、参加者は約40名で、協議をしたが、協議会の設置にいたらず、次回協議を年明けに開催予定であるが、協議会が設置次第、皆さまにお知らせを予定している。

・こまねびの足湯は、12月21日（土）～23日（月）の3日間、ゆず湯を行う予定であるので、ご利用ください。今年度は、石張工事と土間の改修工事を2月18日～2月28日で予定しており、この間の11日間は足湯が休場となるので、了承いただきたい。

・連絡協議会施設見学会は、3月11日（火）に埼玉県環境整備センターを予定しており、詳細は後日連絡する予定である。

##### （2）意見・要望について

・東大和市の有料化であるが、収集運搬委託料はどのくらい上がるのか。
⇒（東大和市）有料化した他市の費用の平均値等を勘案して、20％程度を目途に調整を進めている。
・先日の小平市のパブリックコメントでも戸別回収の話があったが、費用対効果を見ていくのか。
⇒（小平市）現時点では決まっていないが、平成30年度以降に戸別収集と有料化については実施予定で案案をまとめているが、今後、制度の検討や費用面の検証もして制度を構築していく形になるかと考えている。
・東大和市で有料となると、資源ごみは拠点回収で無料となるのが、有料のごみ袋を買って持っていくのか。
⇒（東大和市）可燃ごみ、不燃ごみ、容器包装プラスチックを有料化し、それ以外の、缶、ビン、ペットボトル、紙類、布類の資源は無料で、ステーション回収となる。
・東大和市の容器包装プラスチックを有料化するのと、組合へ持ち込むのか。
⇒（東大和市）現在の処理ルートの中有料ということだが、有料化を。
・東大和市の資源物処理施設が建設できない状態で先に有料化を進めるのか。

## 平成25年度第5回（第91回）連絡協議会

**日 時** 平成26年2月20日（木）午後7時から午後7時50分まで
**場 所** 小平・村山・大和衛生組合 4・5号炉 3階 大会議室
**1 あいさつ（加園会長）**
**2 議 題**
**（1）組織市、衛生組合からの連絡、報告**
**①小平市**
・陶磁器及び小型家電のリサイクルであるが、第3回目の拠点回収を、1月21日(火)に小平市清掃事務所において、午後2時から4時までの2時間実施し、陶磁器が約380キ口、小型家電が約23キ口の回収量であった。今年度は、3月14日（金）に東部公園において、午後1時30分から3時30分までの2時間開催予定で、3月5日の市報で広報をする予定である。不要な陶磁器等があれば、利用していただきたい。
なお、来年度以降も、継続して、イベント及び拠点での回収を実施する予定であるので、よろしくお願ひしたい。
・使用済みインクカートリッジ回収箱の設置の報告である。1月23日から、小平市役所1階正面玄関除け室内に設置したところであるが、この回収箱は、循環型社会の構築とごみ減量に向けた取組の一環として、プリンターメーカー6社が共同で実施しているインクカートリッジ帰りのプロジェクトに、市が参画して、今まで燃えないごみとして収集、処分していた使用済みインクカートリッジの専用の回収箱を設置し、資源としての回収を開始したものである。回収対象は、ブラザー工業（株）、キャノン（株）、デル（株）、セイコーエプソン（株）、日本ヒューレットパッカー（株）、レックスマークインターナショナル（株）が製造、販売する純正のインクカートリッジとなる。市役所に寄った際には利用いただきたい。
・一般廃棄物処理基本計画であるが、昨年11月19日（火）から12月18日（水）まで、パブリックコメントを実施し、13名、54件の意見をいただいた。計画案への反映が6件、一部反映が10件、反映しないが10件、参考が28件となった。その後、廃棄物減量等推進審議会での審議をいただき、2月13日に、今後の廃棄物の減量及び処理に係る方向性等を定めるものとして妥当である、計画案を基に一般廃棄物処理基本計画を策定し、積極的に計画内容の実現を図られたい内容の答申をいただいたところである。この後、3月に、計画を策定する予定である。

**②東大和市**
・本年10月に有料化を実施するが、延べ8回の市民への説明会を開催し、500人以上の方に参加をいただいた。現在、自治会等を対象に、地域に向いた出前説明会を開催している。今後は、指定収集袋や販売店など、有料化の実施に向けた準備を順次進めていく。
**③衛生組合（総務課）**
・議会報告であるが、2月19日（水）に組合議会2月定例会が開催され、条例や予算など5つの議案が審議され、新年度予算は16億5千万であるが、地域共生事業（えんとつフェスティバル）の予算、施設見学会、足湯管理運営経費などの予算が議決された。

**（業務課）**
・平成25年度焼却施設維持管理状況について説明。
⇒（東大和市）有料化は、ごみの減量施策の1つとして実施したものである。
・現時点で、資源物の中に燃えるごみが混在している場合は、今後どうなるのか。立川では、11月から、缶、ビン、ペットボトルも戸別収集となっているが、できれば、小平市が有料化になる場合は戸別収集としていただきたい。
⇒（東大和市）マナー的な部分もあり、今後も注意喚起を継続していきたい。当初検討していた資源物の有料化は市民からの意見等を踏まえ、変更となったものである。
・先に東大和市が有料化を実施するが、今後小平市で有料化が実施される場合には、課題の解決に向けて、よりよい収集を行っていただきたい。
⇒（東大和市）有料化は既に21市が実施しており、後に有料化を行う場合には、既に実施した市の情報等を反映しながら、より良い形で実施できればと思う。
・焼却場の話だが、老朽化しているのが、場所を他へ移して建替えるということはないのか。新しく建替えることに対する地元の要望もあり、連絡協議会が設立されたと思うが、この場所で建替えるのか。
⇒当初は、この場所での建替える計画があり、地域の方の意見等を伺うために、連絡協議会を平成10年に設立し、その後、焼却施設を部分更新したが、平成33年の焼却施設や不燃・粗大ごみ処理施設の更新を見据え、今後、基本構想を策定する段階で方向性を示したいと考えている。
・皆さんが色々な意見や案について話をしていけば、状況は変わらと思うが、反対がなければ、そのままいくと思う。中島町は、立川の一番地の清掃工場、東大和市リサイクルセンターに囲まれ、三角地帯でごみの銀座になっており、皆さんがどう思うかだと思う。

**一 司会交代 一**
**【第4回えんとつフェスティバル実行委員会】**
**1 計画課長あいさつ**
**2 議題**
**（1）えんとつフェスティバル2012について**
**①開催結果について**
**②会計報告について【事務局】**
別紙「収支報告書」に基づき説明。
・収入は総額1,015,676円、支出は総額931,441円、残額84,235円は来年度に繰越しする。
**<主な意見等>**
・当日手伝っていただいた人数を考えると、弁当の数が少ないようだ。
⇒当日は、ボランティアや有志の方等もいて、弁当の手配はしていない。
・フランクルトが少し高いので、安くしていただきたい。
・舞台関係については、華やかなものにしていただきたい。
⇒来年への検討課題としたい。
**監査報告（宮内会計監査）**
11月27日に、実行委員長、会計担当の立会いの下、会計監査を行った。事務局の報告及び帳簿類の照合をしたところ、フェスティバルの会計は適正に処理されていると認める。
**（2）その他（意見・要望等）**
特になし。
**3 閉会**
一 司会交代 一

**（計画課）**
・こまねびの足湯であるが、昨年12月に3日間ゆず湯を開催したが、ゆずを寄付いただき、協力に感謝申し上げます。
・足湯であるが、2月18日（火）から3月6日（木）までの間、設備点検等により臨時休場を実施しているが、理解の程よろしくお願ひしたい。なお、臨時休場期間中に、足湯C石張工事、土間の改修の工事を実施する。
・3市共同資源化事業であるが、3市共同資源物処理施設の周辺住民を対象とした施設整備地域連絡協議会を設置し、2月12日に 第1回の会議を開催した。当日は、3市の市長と組合管理者に出席いただき、意見交換や今後の開催日程等の調整を行った。今後の予定ですが、月1回程度の開催を予定したいと考えている。

**<質疑等>**
・施設整備地域連絡協議会は、東大和市の関係なのか。
⇒東大和市市域で施設から半径800mの自治会等を対象としている。
・足湯の休場期間について伺いたい。
⇒焼却施設の設備点検を行い、整備や修理等を行う必要があることから、休場となったものであると、理解をいただきたいと思う。
・2月12日の会議の状況について伺いたい。
⇒（東大和市）東大和市桜が丘市民センターにおいて、3市市長及び組合管理者出席による施設整備地域連絡協議会を開催した。当日は、16名の方に出席いただき協議したが、時間等の関係もあり、決定できないものについては、次回の協議会の中で、取り組んでいきたいと考えている。
・場所については、反対の意見が多いが、あの場所で行われるのか。
⇒（東大和市）反対意見では、なぜこの地域に整備するののか、などの意見をいただいている。他に候補となる場所がないことから、引き続き丁寧な説明に努めていきたいと考えている。

**（2）自治会長・専任者の届出について【事務局】**
・連絡協議会の構成メンバーの小平市中島町及び立川市幸町の12自治会において、新年度に役員の変更が行われることに伴い、新たに連絡協議会構成委員となる自治会長及び専任者の名簿の提出をお願いするものである。
・提出期限は4月末までとし、期限内に選出ができない場合、あるいは役員の変更がない自治会については、事前に連絡をいただきたい。

**（3）施設見学会について【事務局】**
・日程については、平成26年3月11日（火）午前8時に集合、出発、午後3時45分頃に組合到着、解散の予定である。
・見学場所は、埼玉県寄居町にある埼玉県環境整備センター、彩の国資源循環工場であり、埋立地、メガソーラー、廃棄物ガス化改質施設、廃蛍光管処理施設の見学を2時間予定している。施設見学会の行程表を配布するので、ご確認いただきたい。また、参加者数は40名を予定している。
・人数の増を希望される自治会は事務局まで連絡いただきたい。

**（4）その他（意見・要望等）**